

【2023 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学		(理.作) 選択 (福) 必修	2	(理.作) 1.2 (福) 1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
前川 真奈美	B304	manami.maekawa		木曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>コミュニケーションを理解するうえで大切な心理学の基礎知識を学ぶとともに、心理学に基づく対人援助の方法と実際について理解することを目的とする。</p> <p><概要>心理学の多彩な領域における基本的な理論や心理療法各論を概説し、ワークも取り入れながら理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	オフィスアワーの他、講義中やリアクションペーパーを活用し、積極的に質問して理解を深めてほしい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	心理学と心理的支援 (最新・社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 2) /編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規/2021年				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学の諸分野の基本的な概念を理解し、体系的に説明できる。			HSU (2)	
②	心理学に基づく対人援助の方法と実際について理解し、体系的に説明できる。			HSU (2) (3)	
③	本講義で習得した知識を自分の経験と結びつけ、日常的な現象を考察できる。			HSU (1) (5) (6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 心理学とはどのような学問か、心理学の歴史について学ぶ。	講義	<予習> 「学習内容等」欄に書かれたキーワードについてインターネット等で調べる。 <復習> 配布資料をもとに講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。 次回の冒頭に実施する確認問題に向けて復習する。		
2	パーソナリティ心理学 1:代表的なパーソナリティ理論について学ぶ。	講義			
3	パーソナリティ心理学 2:パーソナリティ検査によるアセスメントについて学ぶ。	講義			
4	感情・情動:感情・情動の仕組みについて学ぶ。	講義・GW			
5	欲求と動機づけ:「やる気」の仕組みについて学ぶ。	講義・GW			
6	感覚・知覚心理学:人はどのように世界をとらえているのかについて学ぶ。	講義			
7	認知心理学:記憶のメカニズムについて学ぶ。	講義			
8	学習心理学:行動が変化する仕組みについて学ぶ。	講義・GW			
9	個人差の心理学:知能のとらえ方や知能検査について学ぶ。	講義			
10	社会心理学:他者の存在が人の態度や行動にどのような影響を及ぼすのかについて学ぶ。	講義・GW			
11	発達心理学:生涯発達の考え方について学ぶ。	講義			
12	適応とストレス:ストレスの仕組みについて学ぶ。	講義			
13	臨床心理学 1:精神分析、クライエント中心療法について学ぶ。	講義			
14	臨床心理学 2:認知行動療法について学ぶ。	講義			
15	カウンセリング:傾聴について学ぶ。 これまでの学習の総括を行う。	講義・GW			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2023 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	60	0	0	0	5	65
	思考・推論・創造する力	5	0	0	0	10	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	5	0	0	0	5	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。定期試験では、心理学の専門用語について問う選択問題と、講義で扱った心理学の知識をもとに自らの考えをまとめる論述問題を出题する。(70点満点)				Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎講義後に Teams 上でリアクションペーパーの提出を求める。講義内容に関する気づき、考察、疑問などが具体的に記述されているかを評価する。(全 15 回、各 2 点満点で計 30 点満点)				次回の講義でコメントへのフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、2年の心理査定業務の経験がある。						
実践的授業の内容	専門性とこれまでの経験をもとに、受講生がイメージしやすい具体例や実践的な情報を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 講義中に、自分の考えを発表する場や学生間の意見交換の場を設ける。他者の考えを知ることで得られる気づきや発見もあるため、積極的な態度で受講することを望む。 ◇ 第 2～15 回の冒頭に、前回の講義内容の理解度を測る確認問題を実施する。計画的に復習することを推奨する。 ◇ 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 ◇ 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることもあり得る。 						